

1年次開講科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	頁
人文社会総論	人文社会科学の世界	4	堀 裕. 佐竹 保子. 木山 幸子. 小松 文晃.	1	水、金	5、4	1
人文社会序論	行動科学で解き明かす 社会	2	浜田 宏. 永吉 希久子	1	月	2	3
人文社会序論	2セメスターからのフ ランス語	2	今井 勉	2	火	2	4
人文社会序論	留学のすすめ	2	沼崎 一郎	2	火	2	5
人文社会序論	『三国志』研究入門	2	川合 安	2	火	2	6
人文社会序論	中国伝統思想入門	2	齋藤 智寛. 三浦 秀一	2	水	5	7
人文社会序論	哲学・倫理入門前—— 自分で考えるために	2	直江 清隆. 原 塑. 村山 達也	2	水	5	8
人文社会序論	宗教学入門	2	木村 敏明	2	木	2	9
人文社会序論	文化人類学序論	2	川口 幸大	2	金	4	10
英語原書講読入門	英語文献による人文社 会入門	2	辻本 昌弘. 村山 達也. 島 越郎. 小松 文晃. 坂井 信之. 有光 秀行. 永吉 希久子. 城戸 淳	2	水、金	3	11

科目名：人文社会総論／ General Introduction to Humanities and Social Sciences

曜日・講時：前期 水曜日 5講時 川北キャンパスC200. 前期 金曜日 4講時 川北キャンパスC200

セメスター：1, **単位数：**4

担当教員：堀 裕, 佐竹 保子, 木山 幸子, 小松 丈晃 (准教授 他)

講義コード：LB00000, **科目ナンバリング：**LHM-OHS201J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

人文社会科学の世界

2. Course Title (授業題目)：

World of Humanities and Social Sciences

3. 授業の目的と概要：

この授業は、文学部の必修科目であり、文学部の学生は1年次の第1セメスターに必ず履修する必要があります。毎週水曜第5時限と金曜第4時限に、文学部の25すべての専修が各1回講義を担当します。文学部生は、この全授業を受講し、人文社会科学というものを総合的に理解することが望まれます。課題として合計4つのレポートを作成し提出してもらうことになります。

第1回の授業の際に詳しいオリエンテーションを行いますので、必ず出席してください。受講するうえで不明な点等ありましたら、上に名前を挙げた教員に聞いてください。

4. 学習の到達目標：

文学部の全専修の講義を受講し、関心あるテーマについてレポートを作成すること等を通して、人文社会科学に対する総合的、基礎的な思考力を身につけるとともに、専門を学ぶ上での目的意識や関心を高める。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーション

2.

インド仏教研究と河口慧海—文献研究を通じた仏教理解への眼差し—
大学で学ぶ東洋史

3.

日本語を学ぶ・日本語を教える
心理学の世界

4.

英語学は何をめざして研究しているのだろうか
倫理学の世界

5.

大学で学ぶヨーロッパ史
文化人類学

6.

物語の面白さとそのメディア的特性
哲学入門—自由の近代哲学—

7.

日本美術史の世界
民間信仰と見えない宗教—宗教研究の現在—

8.

言葉のしくみと心のしくみ
美学・西洋美術の世界

9.

文学表現を発見的に読み、考えるために
日本思想史の世界

10.

行動科学の世界
言語学の世界

11.

コミュニケーションの社会学

中国文学の世界

12.

中国思想の世界

考古学の世界

13.

日本史研究の世界

14.

英語の詩を読んでみよう

15. まとめ

6. 成績評価方法：

レポートと出席とを総合して評価します（比重の目安は、レポート 60%、出席 40%）。

7. 教科書および参考書：

テキスト：『人文科学ハンドブック』（東北大学出版会）、『人文社会科学の新世紀（改訂新版）』（東北大学出版会）。その他、各授業で随時紹介します。

8. 授業時間外学習：

講義を受ける中で自分が関心を持ったテーマについて、講義中に紹介された文献などを手がかりにして、自分で調べて、レポートを書く準備をしてください。

9. その他：

各自教科書・参考書を購入し、第 1 回の授業時に必ず持参してください。

また、最後の授業で専修志望予備調査を実施しますので、必ず出席してください。

科目名：人文社会序論／ Introduction to Humanities and Social Sciences

曜日・講時：前期 月曜日 2講時

セメスター：1, 単位数：2

担当教員：浜田 宏, 永吉 希久子（教授、准教授）

講義コード：LB00001, 科目ナンバリング：LHM-OHS203J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

行動科学で解き明かす社会

2. Course Title (授業題目)：

Intoroduction to Behavioral Science

3. 授業の目的と概要：

行動科学の基本的な考え方を身に付けて、私たちが生きているこの社会のことをよりよく、またより深く理解できるようにする。

4. 学習の到達目標：

行動科学のベースとなる，社会学理論，経済学理論を理解する．また，紹介した理論を適用して，現実社会におけるどのような現象が説明可能かを理解する．

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 本当の答えを聞き出す方法—回答のランダム化
2. 卒業までに彼/彼女ができる確率—2 項分布
3. 何社訪問すれば内定がもらえるのか？—ベータ 2 項分布
4. 先延ばしせずに卒業論文を書く方法—時間割引率
5. 理想の不動産を探す方法—最適停止問題
6. アルバイトの効率的な割り当て方法—GS アルゴリズム
7. 売り上げをのばすのは，どちらの案か？—RCT
8. 学歴社会は平等か—階層再生産
9. 友達が多いと得をする？—社会関係資本
10. 「シェーカツ」は世界共通？—労働市場の国際比較
11. なぜあの人の給料は私より高いのか—階級
12. なぜ自分と似た人と結婚するのか—同類婚のメカニズム
13. 平等な家事分担はなぜ難しいか—性別役割分業
14. なぜ生活保護はバッシングされるのか？—福祉国家レジームと意識
15. 総括

6. 成績評価方法：

出席（40%）、レポート（60%）

7. 教科書および参考書：

教科書は指定しない．適宜資料を配付する．

8. 授業時間外学習：

授業内で紹介する文献を読み，復習すること

9. その他：

トピックに応じて，授業内で受講者同士で議論する時間を設ける．

科目名：人文社会序論／ Introduction to Humanities and Social Sciences

曜日・講時：後期 火曜日 2講時

セメスター：2, 単位数：2

担当教員：今井 勉（教授）

講義コード：LB00002, 科目ナンバリング：LHM-OHS203J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

2セメスターからのフランス語

2. Course Title (授業題目)：

Elementary French

3. 授業の目的と概要：

ゼロからフランス語の基礎を学びます。つまり、第一セメスターでフランス語を学んでいない、完全な初心者を対象とします。もちろん、フランス語を既に学んだことのある人、あるいは学びつつある人が、復習ややり直しのために参加することも可能です。

4. 学習の到達目標：

フランス語文法の基礎を一通り学びます。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

(以下、教科書の進度を示します。目安ですので実際には変動があり得ます。)

1. フランス語の音と文字

2. Leçon 1 および Leçon 2

3. Leçon 3 および Leçon 4

4. Leçon 5 および Leçon 6

5. Leçon 7 および Leçon 8

6. Leçon 9 および Leçon 10

7. Leçon 11 および Leçon 12

8. Leçon 13

9. Leçon 14

10. Leçon 15

11. Leçon 16 および Leçon 17

12. Leçon 18 および Leçon 19

13. Leçon 20

14. Leçon 21

15. Leçon 22

6. 成績評価方法：

出席回数および出席時の授業参加によって評価します。

7. 教科書および参考書：

新・フランス語文法の〈基礎〉、太田浩一／前田保／渡辺仁 著、駿河台出版社

8. 授業時間外学習：

少ない授業時間でフランス語文法を一通り概観します。かなりの進度で進みますので、授業時間以外の学習が極めて重要になります。予習の有無が成績評価に直結しますので、強い意志をもって授業に参加してください。

9. その他：

科目名：人文社会序論／ Introduction to Humanities and Social Sciences

曜日・講時：後期 火曜日 2講時

セメスター：2, **単位数：**2

担当教員：沼崎 一郎（教授）

講義コード：LB00003, **科目ナンバリング：**LHM-OHS203J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

留学のすすめ

2. Course Title (授業題目)：

Let's Study Abroad

3. 授業の目的と概要：

留学の魅力を紹介し、留学への意欲を掻き立てるとともに、留学準備の進め方を指導する。セメスターの前半は、世界各地に留学した体験を持つ文学部生の体験談を聞き、質疑応答を通して、留学の実情を知ってもらうことを中心とする。後半は、留学手続きの進め方、特に東北大学の交換留学制度の使い方を説明し、交換留学の志望動機書と学習・研究計画書の書き方を指導する。また、語学学習についても、アドバイスを提供する。

4. 学習の到達目標：

- (1) 留学に興味を持つ。
- (2) 留学手続きの知識を得る。
- (3) 留学計画を立ててみる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入 授業法の説明
2. 東北大学の交換留学制度の概要
3. 長期留学者の体験談を聞く (1) イタリア
4. 長期留学者の体験談を聞く (2) オーストリア
5. 長期留学者の体験談を聞く (3) オランダ
6. 長期留学者の体験談を聞く (4) 北アメリカ
7. 長期留学者の体験談を聞く (5) ラテンアメリカ
8. 長期留学者の体験談を聞く (6) 東南アジア大陸部
9. 長期留学者の体験談を聞く (7) 東南アジア島嶼部
10. 長期留学者の体験談を聞く (8) 東アジア
11. 交換留学申請書の書き方 (1) 概要
12. 交換留学申請書の書き方 (2) 志望動機書
13. 交換留学申請書の書き方 (3) 学習・研究計画書
14. 交換留学申請書の書き方 (4) 推薦状
15. 総括とディスカッション

なお、長期留学者の体験談のプレゼンテーションの順番は、ゲストの都合により変わることがある。

6. 成績評価方法：

毎回のリアクションペーパー (50%) と、交換留学申請書 (志望動機と学習・研究計画) の作成 (50%) による。

7. 教科書および参考書：

教科書は使わない。参考書は、適宜教室で指示する。

8. 授業時間外学習：

海外の大学について、ホームページを見るなどして、実際にリサーチする。交換留学申請書の下書を作成する。自分の推薦状を自分で書いてみる。

9. その他：

留学に興味のある人はもちろん、留学に興味のない人もぜひ受講して欲しい。実際に留学した経験のある先輩の話聞くことで、留学について具体的なイメージを持つことができるようになるだろう。

科目名：人文社会序論／ Introduction to Humanities and Social Sciences

曜日・講時：後期 火曜日 2 講時

セメスター：2, 単位数：2

担当教員：川合 安（教授）

講義コード：LB00004, 科目ナンバリング：LHM-OHS203J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

『三国志』研究入門

2. Course Title (授業題目)：

SANGUOZHI (Reading)

3. 授業の目的と概要：

東洋史の中でも、特に中国前近代史の場合、漢文で書かれた史料（歴史書や文書など）を読むことが必須である。本講義では、単に從來知られている歴史事実を記憶するのではなく、自ら史料を読むことを通じて歴史を探究することを体験してもらうことを目的とする。歴史書『三国志』を素材として、それを読む際に必要な基礎知識を学んだ上で、実際に『三国志』を原文で読んでみる。

4. 学習の到達目標：

自ら史料を読むことを通じて歴史を探究することを実体験し、その初歩的方法を体得する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、はじめに：中国史における三国時代
- 2、『三国志』の概要
- 3、『三国志』を読むための基礎知識（1）漢文の語法
- 4、『三国志』を読むための基礎知識（2）漢籍電子文献の使用法
- 5、『三国志』を読むための基礎知識（3）官職や地名の調べ方
- 6、後漢王朝末期の朝廷における曹操（この回から発表と討議を行う。）
- 7、曹操の挙兵
- 8、曹操の天子奉戴
- 9、屯田制の実施
- 10、官渡の戦い
- 11、赤壁の戦い
- 12、曹操の魏公就任
- 13、曹操の魏王就任
- 14、曹操の死（この回まで、発表と討議。）
- 15、おわりに：総括、『三国志』研究のこれから

6. 成績評価方法：

小テスト（1～5 回毎回実施）20%、討議への参加状況（6～14 回）30%、発表内容 50%。

7. 教科書および参考書：

教科書：資料を配布する。

参考書：渡邊義浩著・三国志学会監修『三国志研究入門』日外アソシエーツ株式会社、2007 年
石井仁著『魏の武帝 曹操』新人物往来社「新人物文庫」、2010 年
堀敏一著『曹操—三国志の真の主人公』刀水書房「刀水歴史全書」、2000 年

8. 授業時間外学習：

配布資料を読み、授業内容を復習して、発表や討議の準備をしていただきたい。

9. その他：

科目名：人文社会序論／ Introduction to Humanities and Social Sciences

曜日・講時：後期 水曜日 5 講時

セメスター：2, 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛・三浦 秀一（准教授、教授）

講義コード：LB00005, 科目ナンバリング：LHM-OHS203J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国伝統思想入門

2. Course Title (授業題目)：

Introduction to Chinese traditional thought

3. 授業の目的と概要：

中国思想専修の志望者および広く中国の思想や古典に関心のある学生を対象として、中国における伝統思想の諸相を紹介、解説する。授業は導入とまとめを除いて5回の講義と8回の原典講読から構成され、講義においては、「気」「道」「性」「仁」「理」といった中国思想の基本的な世界観、人間観、実践論に関わる概念を解説、検討する。原典講読では、日本の江戸時代から明治時代にかけての漢学者による漢文訓読体の文章を読み、漢語・漢文による思惟にじかに触れるとともに、本邦における中国研究の流れにも一定の理解を得る。

4. 学習の到達目標：

中国古典思想の基本概念について初歩的な理解を得る。思想・哲学的内容を持った漢文訓読体の文章が理解できる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス（齋藤）
2. 講義①「気」（齋藤）
3. 講読1（三浦）
4. 講読2（三浦）
5. 講義②「道」（齋藤）
6. 講読3（三浦）
7. 講読4（三浦）
8. 講義③「性」（三浦）
9. 講読5（齋藤）
10. 講読6（齋藤）
11. 講義④「仁」（三浦）
12. 講読7（齋藤）
13. 講読8（齋藤）
14. 講義⑤「理」（三浦）
15. まとめ（三浦、齋藤）

6. 成績評価方法：

講義期間中に課す小レポート（50%）、原書講読の予習状況と討論での発言状況（50%）

7. 教科書および参考書：

教科書は用いず、プリントを配布する。そのほか、参考書を随時紹介する。

8. 授業時間外学習：

原書講読の週には、あらかじめテキストを読み、必要に応じて辞書、事典類を引いておく。また、参考書を読んで討論やレポートに備える。

9. その他：

科目名：人文社会序論／ Introduction to Humanities and Social Sciences

曜日・講時：後期 水曜日 5 講時

セメスター：2, **単位数：**2

担当教員：直江 清隆, 原 壘, 村山 達也 (教授 他)

講義コード：LB00006, **科目ナンバリング：**LHM-OHS203J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

哲学・倫理入門前——自分で考えるために

2. Course Title (授業題目)：

Introduction to Philosophy

3. 授業の目的と概要：

哲学専修または倫理学専修への進学を考えている文学部 1 年生の方が主な対象です (下の「その他」参照)。

哲学的な議論・思考にふれて、自らやってみて、なじんでいってもらうことが目的です。

クラス内でのディスカッションが中心です。人前で話すのが苦手な方は、授業外に TA や教員にメールを送るなどの形でディスカッションに参加することも可能です。

授業中に短いプレゼンテーションをするか、小レポートを提出するかしてもらいます。プレゼンやレポートのやりかたやテーマは教員か TA と相談して、追い追い決めていきます。

4. 学習の到達目標：

哲学のトピックをめぐって思考できるようになること。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

【以下の予定には変更があり得ます。】

1. ガイダンス
2. トピックを探しながら自由に論じよう (1)
3. トピックを探しながら自由に論じよう (2)
4. トピックを探しながら自由に論じよう (3)
5. トピックを探しながら自由に論じよう (4) 小レポート
6. 知るとは何かについての哲学対話 (1)
7. 知るとは何かについての哲学対話 (2)
8. 知るとは何かについての哲学対話 (3)
9. 知るとは何かについての哲学対話 (4) 小レポート
10. 現代倫理学のトピック (1)
11. 現代倫理学のトピック (2)
12. 現代倫理学のトピック (3)
13. 現代倫理学のトピック (4) 小レポート
14. まとめ (1)
15. まとめ (2)

6. 成績評価方法：

プレゼンテーションまたは小レポート (授業中)：60%、出席およびのパフォーマンス：40%。相互評価を導入することもある。

7. 教科書および参考書：

教科書：直江清隆編『高校倫理の古典で学ぶ 哲学トレーニング 2 ——社会を考える』(岩波書店、2016 年)

(『高校倫理の古典で学ぶ 哲学トレーニング 1 ——人間を理解する』(岩波書店、2016 年) も参考図書に挙げておきます。)

8. 授業時間外学習：

授業中のディスカッションをめぐって考えたり、予告されたテーマについて考えたりし、次回の授業での発言を準備する (または TA や教員にメールする)。

9. その他：

哲学専修・倫理学専修への進学を考えている学生さんはなるべく履修してください。

他学部の学生さんは、履修登録前に、担当教員に相談してください (授業初回などに直接会って話すのでも、電子メールでも)。

科目名：人文社会序論／ Introduction to Humanities and Social Sciences

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

セメスター：2, 単位数：2

担当教員：木村 敏明（教授）

講義コード：LB00007, 科目ナンバリング：LHM-OHS203J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

宗教学入門

2. Course Title (授業題目)：

Introduction to the Religious Studies

3. 授業の目的と概要：

本授業では、宗教学の基本的なものの見方と主要なテーマについて、次のような方法で理解することを目指す。具体的には、次のような内容を含む。

1. 宗教学の基本的なものの見方について、教員が簡単な講義を行ったのちに、討論を行う。
2. 宗教に関する新聞記事から、各自（受講生の数によっては班単位）で興味を持った話題を選び、その社会的、学術的背景や意義について調べて発表をする。
3. 活きた宗教に触れる。幾つかの宗教の信者、あるいは宗教者にそれぞれの宗教について語ってもらい、議論をする。また、地域の宗教施設において民衆の祈願に関するフィールドワークを一回行うことも予定されている。

4. 学習の到達目標：

宗教学の基本的な知識と技法を身につけることができる。

現代の宗教をめぐる諸問題について知ることができる

5. 授業の内容・方法と進度予定：

イントロダクション

2. 準備作業

3. 講義と討論 1. 宗教とは何だろう

4. 講義と討論 2. 教育と宗教

5. 講義と討論 3. 宗教の社会貢献

6. 新聞発表の準備.

7. 新聞発表 1.

8. 新聞発表 2.

9. 新聞発表 3.

10. 新聞発表 4.

11. 活きた宗教に触れる 1. 神仏への願い（神社調査準備）

12. 活きた宗教に触れる 2. 神仏への願い（神社調査を予定）

13. 活きた宗教に触れる 3. 日本におけるイスラーム（仙台マスジド代表による講演を予定）

14. 活きた宗教に触れる 4. 宗教による社会貢献の新展開（臨床宗教師による講演を予定）

15. まとめ

6. 成績評価方法：

授業中の発表、議論への参加状況。

7. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

8. 授業時間外学習：

発表準備。

Preparation for presentation

9. その他：

科目名：人文社会序論／ Introduction to Humanities and Social Sciences

曜日・講時：後期 金曜日 4 講時

セメスター：2, **単位数：**2

担当教員：川口 幸大 (准教授)

講義コード：LB00008, **科目ナンバリング：**LHM-OHS203J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

文化人類学序論

2. Course Title (授業題目)：

Introduction to Cultural Anthropology

3. 授業の目的と概要：

文化人類学とは、主としてフィールドワークを通じて異文化について研究し、そこから相対的な視野と思考力を養おうとする学問である。この授業は文化人類学の入門である。文化人類学の基礎的な知識を学び、フィールドワークの体験を通して、この学問の特徴を知ってもらいたい。

授業は大きく分けて、①文化人類学の考え方についてのレクチャーと討論、②フィールドワーク体験、③民族誌の講読、④レポートの作成の4つから成る。主な内容は、講義を聴き、議論し、課題をこなしてゆき、最終的にレポートを作成することである。

4. 学習の到達目標：

文化人類学がいかなる学問で、どのような考え方と方法のもとに研究を進めていくのかについての基礎を学ぶ。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

イントロダクション：授業の概要

1. イントロダクション

2. 文化人類学の考え方① 家族・親族、社会関係、つながり

3. 文化人類学の考え方② 結婚とは？

4. 文化人類学の考え方③ 男／女を考える：性とジェンダー

5. 文化人類学の考え方④ 世界をどう見るか、何を「信じる」か？：宗教

6. 文化人類学の考え方⑤ 経済を人類学から考える：儲かることはよいことか？

7. 文化人類学の考え方⑥ グローバリゼーション＋ローカリゼーション＝？

8. フィールドワークをしてみよう① 非参与観察とインタビュー入門

9. フィールドワークをしてみよう② 公園での非参与観察報告会

10. フィールドワークをしてみよう③ インタビュー報告会

11. 民族誌を読んでみよう①

12. 民族誌を読んでみよう②

13. レポートを構想する

14. レポート構想発表会

15. まとめ：文化人類学を学んで

6. 成績評価方法：

レポート [40%]、出席・討論参加 [20%]、最終レポート [40%]

7. 教科書および参考書：

『ようこそ文化人類学へ』川口幸大著、2017、昭和堂

8. 授業時間外学習：

毎週、その回の授業内容に沿った課題を出す。

9. その他：

科目名：英語原書講読入門／ Introduction to Academic Reading in English

曜日・講時：後期 水曜日 3 講時. 後期 金曜日 3 講時

セメスター：2, **単位数：**2

担当教員：辻本 昌弘, 村山 達也, 島 越郎, 小松 丈晃, 坂井 信之, 有光 秀行, 永吉 希久子, 城戸 淳 (准教授 他)

講義コード：LB00009-16, **科目ナンバリング：**, **使用言語：**

1. 授業題目：

英語文献による人文社会入門

2. Course Title (授業題目)：

Introduction to Humanities through Reading English Documents

3. 授業の目的と概要：

本授業では、各授業担当者の専門領域に関わる内容の英語文献を講読します。英語原書文献の読解力は二年次以降の学習・研究にとって重要であるばかりでなく、文学部卒業生に期待される基礎学力として欠かせません。英語原書文献の正確な読解には、語学的読解力と論旨を正確に把握する思考力が必要となります。加えて、トピックの背景知識や、その他の一般的知識も必要です。したがって、英語辞書等の活用に加えて、語学以外の側面についても自ら調べる姿勢が重要となります。本授業では、専門課程で必要となる「読み方」や「調べ方」を身につけてもらうことを特に重視します。各授業の具体的内容は授業紹介を参照してください。また、授業方法、評価方法等の詳細は、授業開講時に各担当者が指示します。

4. 学習の到達目標：

- (1) 英語原書文献の読解力が身につく。
- (2) 文献の批判的講読の仕方が身につく。
- (3) 理論的思考力が身につく。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) イントロダクション
- 2) 学術英語の読解演習 (1)
- 3) 学術英語の読解演習 (2)
- 4) 学術英語の読解演習 (3)
- 5) 学術英語の読解演習 (4)
- 6) 学術英語の読解演習 (5)
- 7) 学術英語の読解演習 (6)
- 8) 学術英語の読解演習 (7)
- 9) 学術英語の読解演習 (8)
- 10) 学術英語の読解演習 (9)
- 11) 学術英語の読解演習 (10)
- 12) 学術英語の読解演習 (11)
- 13) 学術英語の読解演習 (12)
- 14) 学術英語の読解演習 (13)
- 15) 学術英語の読解演習 (14)

6. 成績評価方法：

各担当教員が授業開始時に指示します。

7. 教科書および参考書：

各担当教員が授業開始時に指示します。

8. 授業時間外学習：

予習段階であらかじめ教材に目をとおしておくこと。

9. その他：

- 1～4 クラスは水曜日 3 校時
5～8 クラスは金曜日 3 校時

英語原書講読入門授業紹介

クラス1 水・3 担当 辻本 昌弘 社会心理学の英文入門書をゆっくりと読みます。社会心理学とは人間関係や集団 など人の社会性を調べる研究分野です。英文の議論展開を正確に理解したうえで、議論の要点を的確にまとめる力を身につけることを授業の目標とします。 テキスト：授業開始時にプリントを配布します。
クラス2 水・3 担当 村山 達也 「善悪は人それぞれか」「死は害なのか」「ペットを苛めてはいけないのに家畜を殺してよいのはなぜか」「人生の意味は何か」といった問題について、入門書や専門論文の一部を読みます（各テーマに三回で、全部で四テーマを扱います）。初回に進め方を説明し、参加者の投票でテーマを決めますので、必ず出席してください。 テキスト：すべてプリントで配布します。
クラス3 水・3 担当 島 越郎 2歳から5歳までの子供に見られる不規則動詞の「言い間違い」を考察した論文を読み、ヒトが生まれながらに持つ言語能力と言語習得のプロセスについて考えていきます。授業では出席簿順に和訳してもらいますので、しっかり予習をして授業に臨んでください。 テキスト：授業開始時にプリント配布します。
クラス4 水・3 担当 小松 丈晃 授業では、英語の社会学入門的なテキストを輪読します。英文を精確に読み解くことは、論理的な考え方・独創的な考え方を生み出すための第一歩です。テキストを読みながら、社会的な思考の基礎を身につけていきます。予習と復習は念入りにおこなってください。 テキスト：授業開始時にプリントを配布します。
クラス5 金・3 担当 坂井 信之 「食べる」という行為は生きて行くために必須ですが、私たちヒトは生きるためだけに食べているわけではありません。この授業では、「食べる」という行為の文化的・心理学的側面を理解するために、<i>Taste Culture Reader</i> あるいは <i>Food and Culture</i> というアンソロジー本の一部を読み進めます。 テキスト：The taste culture reader, BERG, 2005. and Food and Culture, Routledge, 2008. 授業開始時にプリントを配布します。
クラス6 金・3 担当 有光 秀行 専門性の高い内容の英文を読む稽古を、担当者（有光）が専門とするヨーロッパ中世史の書物を素材に、おこないます。正確に英文を読む能力を身につけてもらうことが第一の目標ですが、歴史学、人文学の面白さを理解してもらいたく思っています。 テキスト：授業開始時にプリントを配布します。
クラス7 金・3 担当 永吉 希久子 本授業では、貧困と不平等に関する教科書として有名な <i>The Economics of Poverty and Discrimination</i> を講読します。これによって、経済学や社会学、行動科学に関わる文献を読むための英語力に加え、貧困や不平等について考えるための基礎的な知識や考え方を身に付けることを目的としています。 テキスト：入手方法は授業開始時に指示します。
クラス8 金・3 担当 城戸 淳 近現代哲学史の紹介を踏まえつつ哲学的思考へと導く入門的な教科書である Roger Scruton, <i>Modern Philosophy: An Introduction and Survey</i>, Penguin Books, 1994 から、受講生の関心に応じて、いくつかの章を選んで講読します。英語で哲学の文章を読みとき、レジュメ形式で発表し、哲学的な問題について討論するための基礎的な訓練の場としたいと思います。 テキスト：プリントで配布します。